

# 無数鍵多重時変成立点理論一

## 基礎の基礎

固定の正解を守るのではなく「成立」を一瞬の例外としてのみ許可する理論。

### 1. 従来方式の問題

- ・固定ID・パスワード
- ・再利用・総当たり攻撃
- ・漏れたら終わり...

### 2. ランダム成立空間



### 3. 5状態モデル



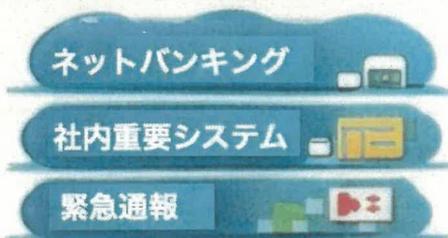
### 4. 状態遷移



### 5. 決定的な効果

- ・攻撃が積み上がらない
- ・再利用が不可能
- ・攻撃AIが学習できない
- ・正解は安定・不正は消滅

### 7. 従来方式との比較



### 6. 具体事例

従来方式	本理論
守る対象	固定の秘密
再利用	可能
攻撃試行	有利
失敗	失敗のみ
	連断・消失

# 無数鍵多重時変成立点理論 (提出用)

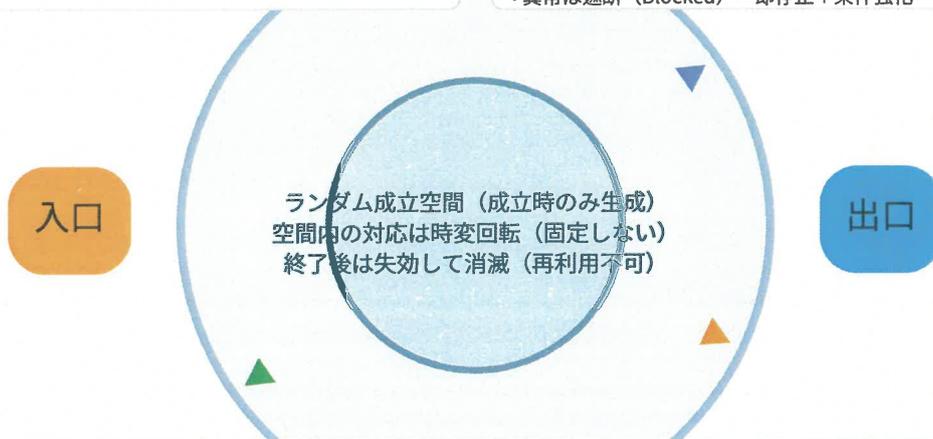
固定の正解を作らず / 成立を一瞬の例外として制御

## ① 固定の正解を作らない

- 固定ID / 固定パス / 固定トークンに依存しない
- 成立条件は毎回ランダム生成 (漏洩の価値が落ちる)
- 盗聴・フィッシングで“再利用”が成立しにくい
- 同一ターゲットへの累積試行 (総当たり) を無意味化

## ② 成立 = 一瞬の例外 (状態遷移)

- 通常は無効 (Invalid) = 空間が存在しない
- 成立時のみ有効 (Valid) = 入口が開く
- 継続 (Active) = 時変回転しつつ条件を維持
- 終了後は失効 (Expired) = 空間ごと消滅
- 異常は遮断 (Blocked) = 即停止 + 条件強化



状態遷移: 無効 → 有効 → 継続 → 失効 / 有効・継続 → 遮断 → 無効

## ③ 攻撃が積み上がらない (攻撃が不利化)

- 失敗が続くほど遮断 (Blocked) に遷移しやすい
- 試行回数が増えるほど条件が回転し“学習できない”
- アラート疲れ・監視負荷・ログ分析負荷が減る
- 攻撃トラフィックの長期化を抑止 (短命化)

## ④ 入口・中継・出口を統一制御 (用途別)

- 送金 / DL / 印刷 / 設定変更など操作ごとに条件分離
- 異常時は“その操作だけ遮断”し、業務は継続可能
- 正規利用は継続 (Active) で安定 (体感を落とさない)
- 出口で必ず失効し、セッション再利用を防止

## 導入で起きる効果 (経費削減 / 負荷率低下 / 事故縮小)

### 経費削減 (主な減る費用)

- ヘルプデスク (PW忘れ / 解除 / 本人確認) ↓
- 監視・運用 (SOC外注 / 夜間対応 / 当直) ↓
- 事故対応 (調査範囲 / 説明対応 / PR) ↓
- 補償・返金・不正損害 (点で止まる) ↓
- 継ぎ足し製品 (WAF/SIEM/MFA強化頻度) ↓

### 負荷率低下 (主な減る負荷)

- 認証処理 (CPU/DB/セッション維持) ↓
- 不正トラフィックの長期化・再送負荷 ↓
- ログ総量・保存・検索・分析 (SIEM課金) ↓
- アラート疲れ (見る量 / 判断量) ↓
- 障害の長期化 (早期遮断で短命化) ↓

### 適用例 (許すか / 許さないかで分ける)

- ネットバンク: ログイン → 送金を中継点で別条件 (送金だけ厳格)
- 社内機密: 閲覧は継続、DL/印刷だけ追加条件 (用途別分離)
- 緊急通報: 異常検知で成立 → 通報中は時変継続 → 終了後は失効



# 無数鍵多重時変成立点理論の凄さ

なぜ「今までになかった」のか

## 1 発逆の発規

- 従来正解を守る
- 本理論正解



守るべき「正解」が存在しない時局がほとんど

## 2 一瞬の例外だけ有効

- 許可されている状態が常態ではない

無効

有効

許可されている状態が常態ではない

## 3 攻撃が 努力するほど不利



過断

- ログや履歴を消しても
- 空間ごと消滅して再利用不可

無効

失効

無数鍵多重

## 4 秤旧という 概念が消える

ログや履歴を消しても  
空間ごと消滅して  
再利用不可



## 5 入口・中継・出口を制御



- 既に閉鎖を急めても空間ごと消滅して再利用不可

## 6 軽く速く安くなる

- 安全性を上げた結果、  
速く-軽く-安い  
非常に珍しい



## 7 人間の弱さを前提に

- 人はミスをする的種で、  
「ミスしても復く  
彼輩が分からない」



安全性を上げた結果、速く-軽く-安い  
非用に珍しい

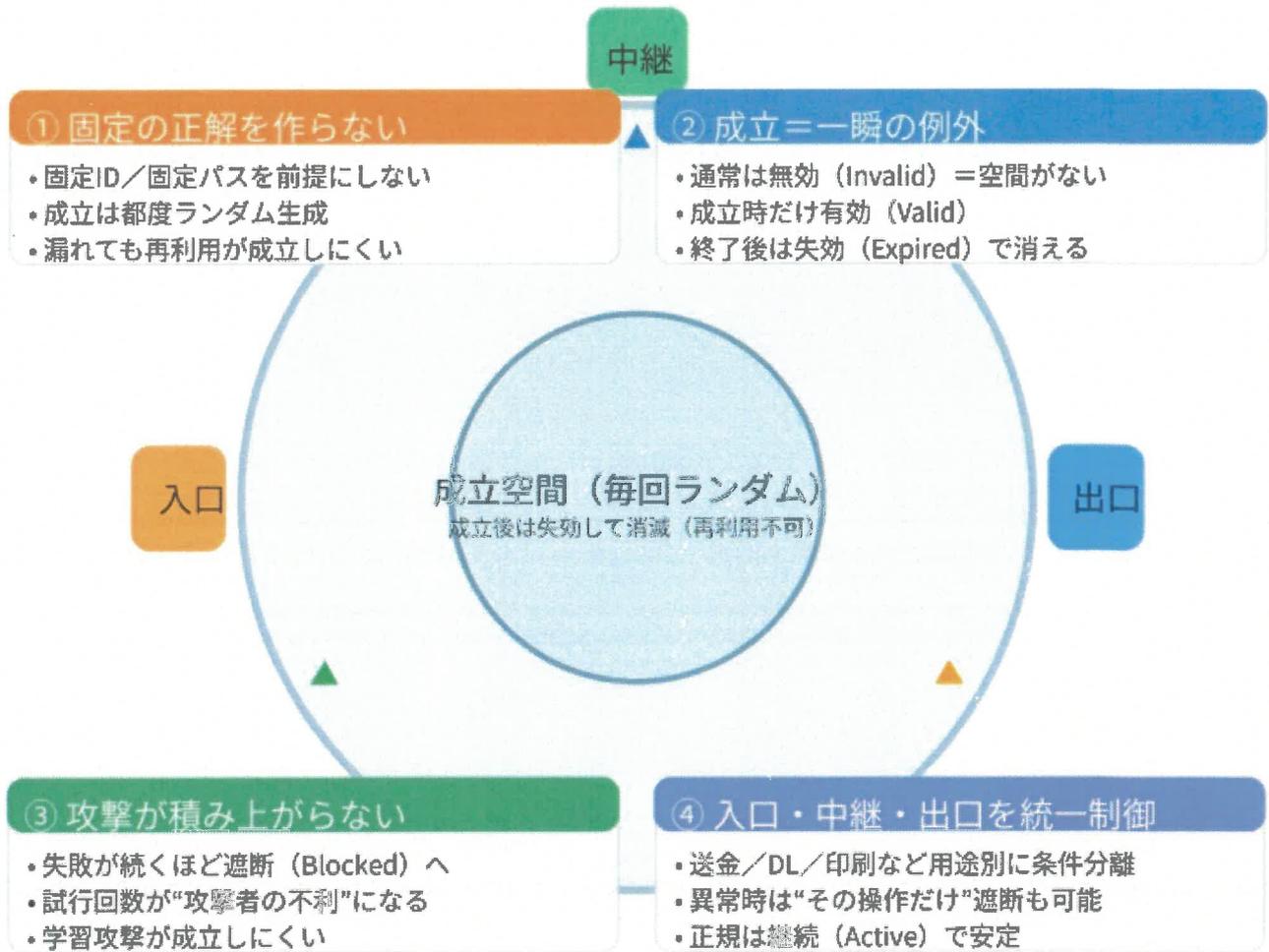
## 8 安全×経費削減×負荷低下を 同時達成



三立(トリレンマ解消) 安くして速い、しかもをき

# 無数鍵多重時変成立点理論の凄さ

成立は一瞬の例外 / 固定の正解を作らない



## 導入で起きる効果 (経費削減 / 負荷率低下)

### 経費削減 (例)

- ヘルプデスク (パスワード / ロック解除) ↓
- 監視・運用 (SOC外注 / 夜間対応) ↓
- 事故対応 (調査範囲・説明対応) ↓
- 補償・返金・不正損害 ↓
- 追加対策の継ぎ足し (WAF/SIEM等) ↓

### 負荷率低下 (例)

- サーバ / DBの認証処理負荷 ↓
- 不正トラフィックの長期化 ↓
- ログ総量・検索・分析負荷 ↓
- アラート疲れ (見る量 / 判断量) ↓
- 障害の長期化 (早期遮断で短命化) ↓

